

2020年3月期 第2四半期
2019年 4月 1日 ~ 2019年 9月 30日

連結決算の概要

株式会社 ジェイ・エム・エス

(証券コード 7702)

2019年11月11日

業績ハイライト

～2020年3月期 第2四半期～



百万円

	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期		対前年同四半期		対予想 増減率
		公表予想	実績	増減額	増減率	
売上高	28,426	29,600	28,718	292	1.0%	△3.0%
営業利益	490	750	817	326	66.6%	9.0%
経常利益	593	850	956	362	61.1%	12.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	426	600	637	210	49.5%	6.2%
1株当たり 四半期純利益	17円50銭	24円61銭	26円14銭	---	---	---

為替レート (期中平均)	米ドル	110.26円	110円	108.63円
	ユーロ	131.64円	125円	124.32円
	シンガポールドル	81.64円	82.5円	79.34円

～2期連続増収増益～

(対前年同四半期比)

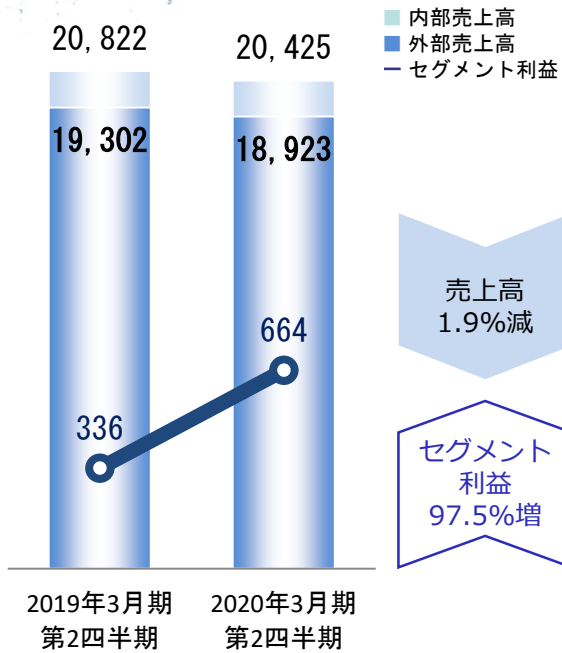
売上	日本	-薬剤調製・投与クローズドシステム「ネオシールド」や血液バッグが増加 -摂食嚥下関連用品が減少	利益	-増収効果に加え、生産拡大に伴う稼働率の向上により営業利益は増加 -持分法による投資利益の計上などにより経常利益は増加
	海外	-成分献血用回路や血液バッグが増加	配当金	-中間配当は1株当たり8円

セグメント業績

※所在地別、経常利益ベース

百万円

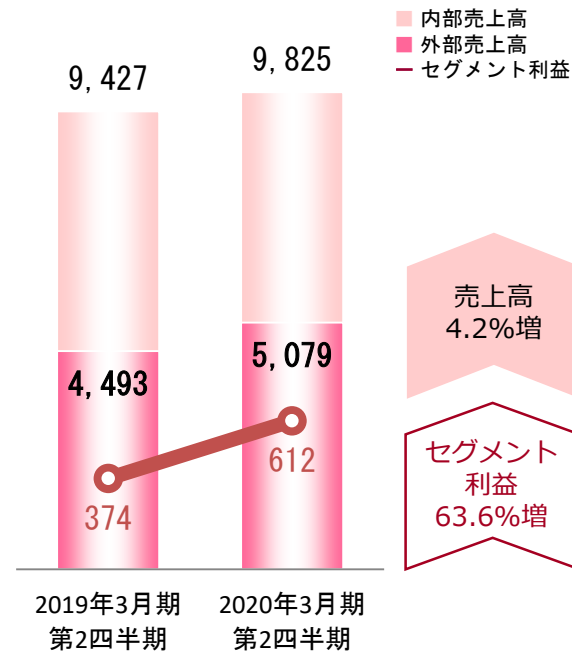
日本



【売上】 薬剤調製・投与クローズドシステム「ネオシールド」や血液バッグが増加したものの、摂食嚥下関連用品が減少

【利益】 減収影響はあるものの、経腸栄養製品の国際規格化に備えた増産に伴う稼働率の向上に加え、子会社からの受取配当金が増加

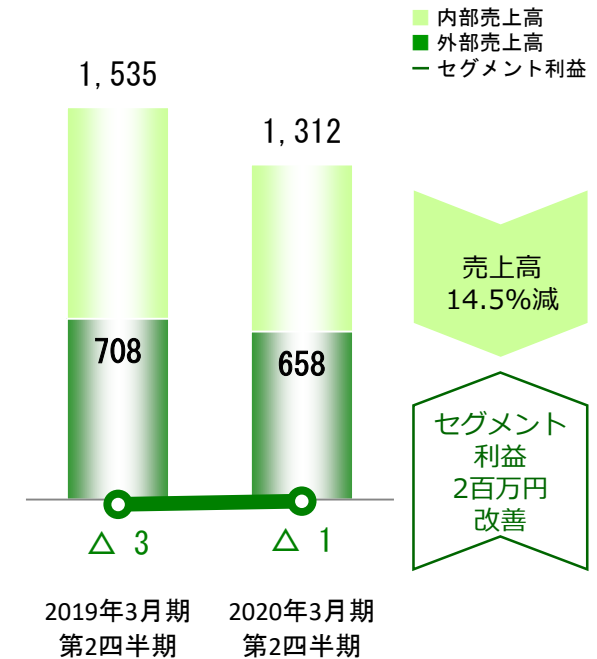
シンガポール※



【売上】 北米向けの成分献血用回路やアフリカ向けの血液バッグが増加

【利益】 増収効果により増加
※シンガポールは、生産体制を相互に補完し一体とした事業活動を行うインドネシアの現地法人を含んでいます。

中国



【売上】 フィリピンへの生産移管により日本向けの輸液セットが減少

【利益】 減収影響はあるものの、経費の低減に努めたことにより改善

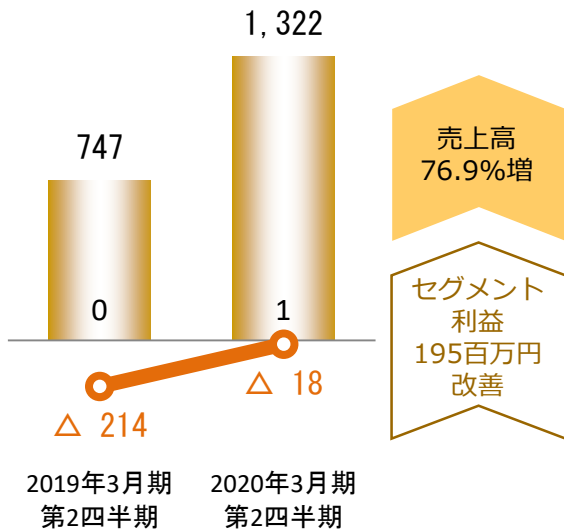
セグメント業績

※所在地別、経常利益ベース

百万円

フィリピン

■ 内部売上高
■ 外部売上高
— セグメント利益

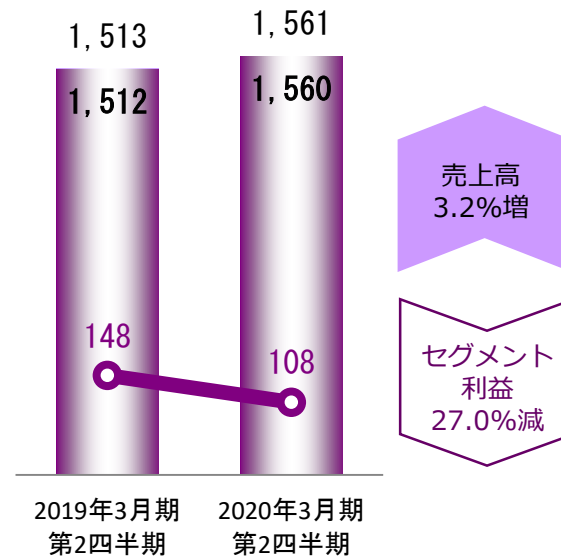


【売上】
日本向けの輸液セットが増加

【利益】
増収効果により損益状況は改善

ドイツ

■ 内部売上高
■ 外部売上高
— セグメント利益

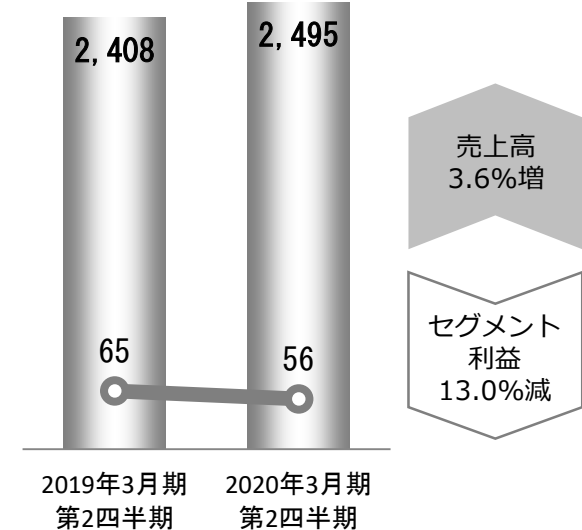


【売上】
血液バッグが増加

【利益】
為替による外貨建ての仕入取引にかかる原価が増加

その他

■ 外部売上高
— セグメント利益

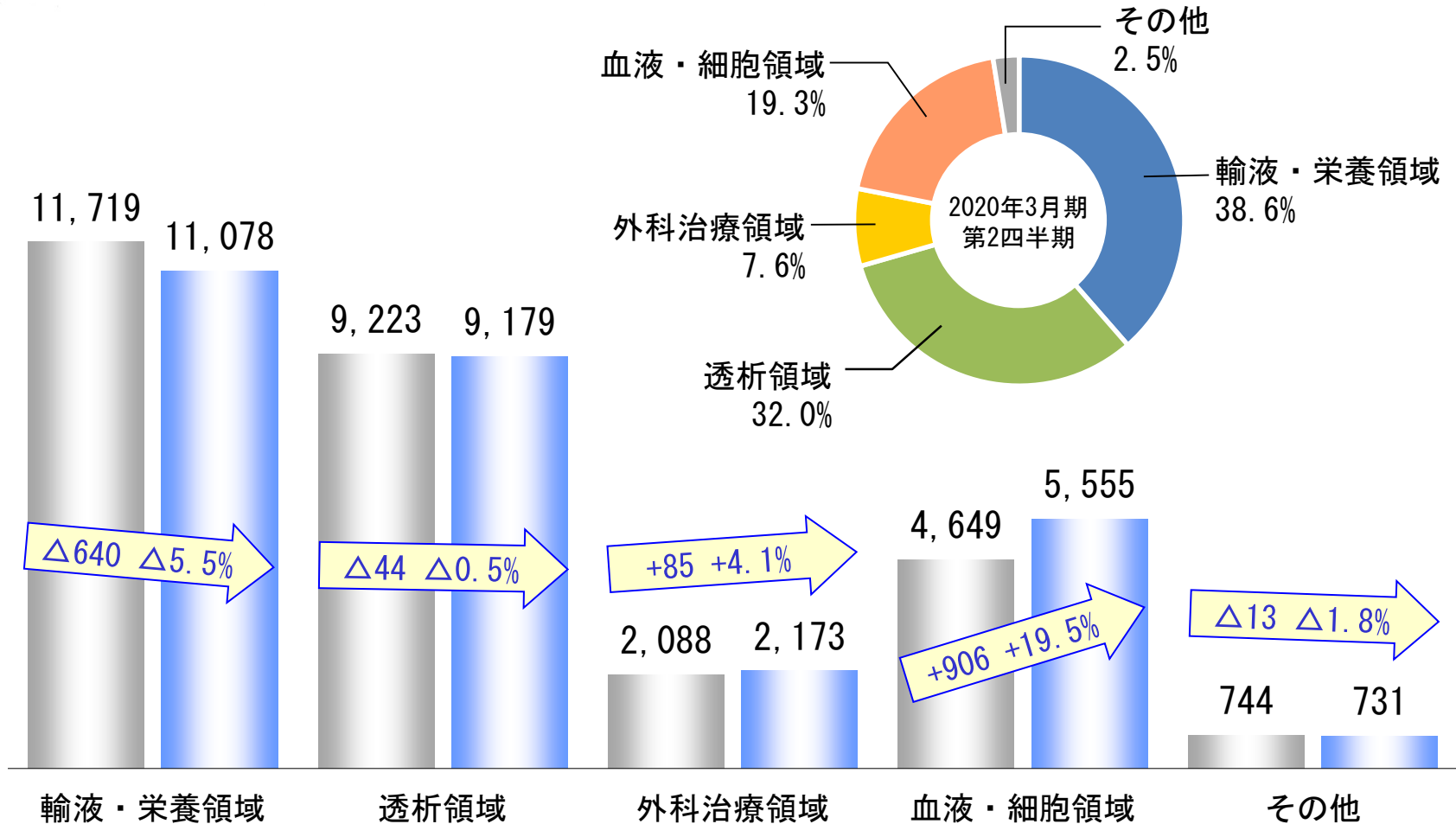


※その他は、国内子会社及びアメリカ、韓国、タイの現地法人の事業活動を含んでいます。

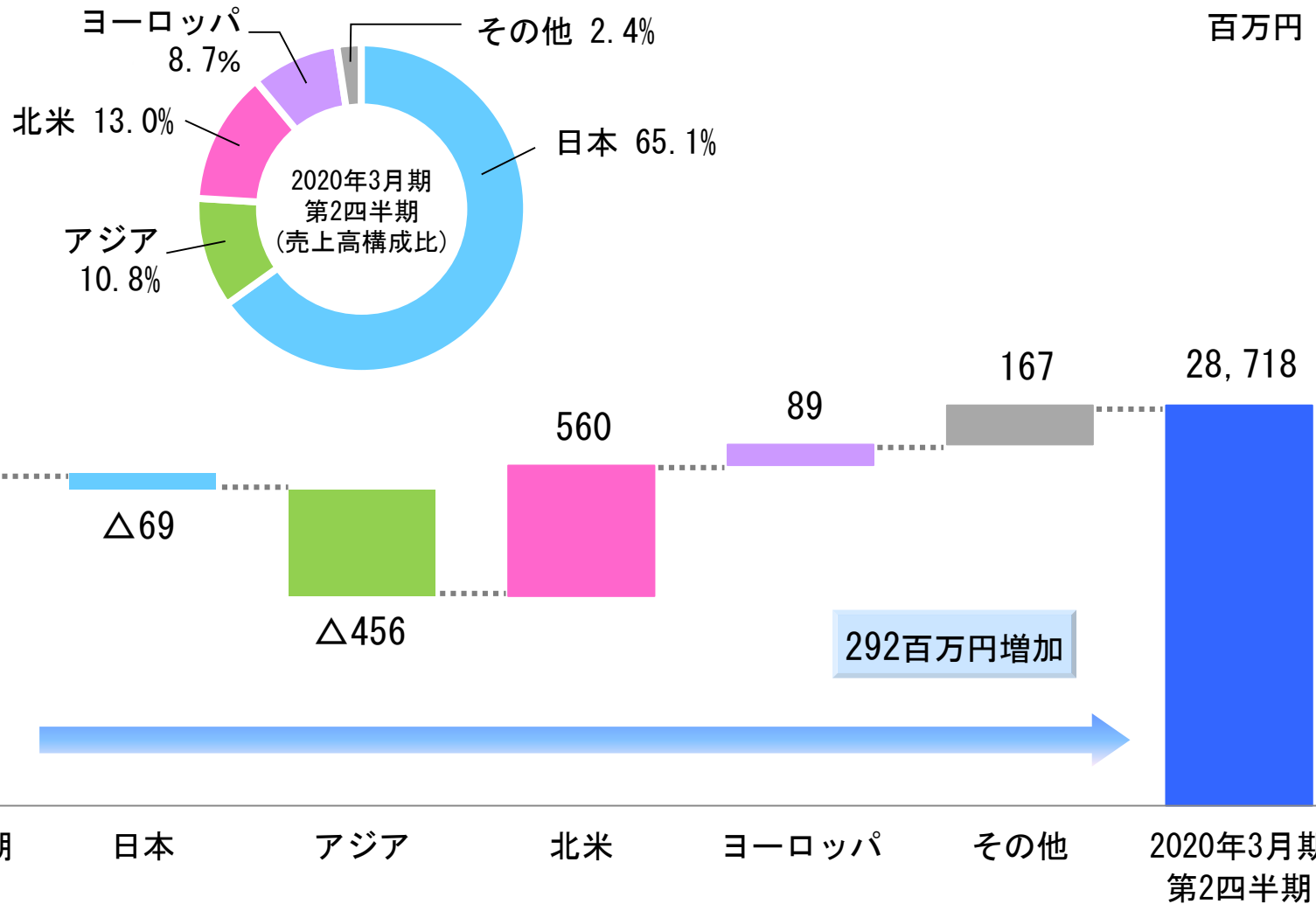
～前期末より報告セグメントの区分を変更しています～
従来「その他」に含まれていた「ドイツ」について量的な重要性が増したため、報告セグメントとして記載しています。なお、前年同四半期のセグメント情報は、変更後の区分により作成したものを記載しています。

システム別売上高

2019年3月期 第2四半期
 2020年3月期 第2四半期
 百万円

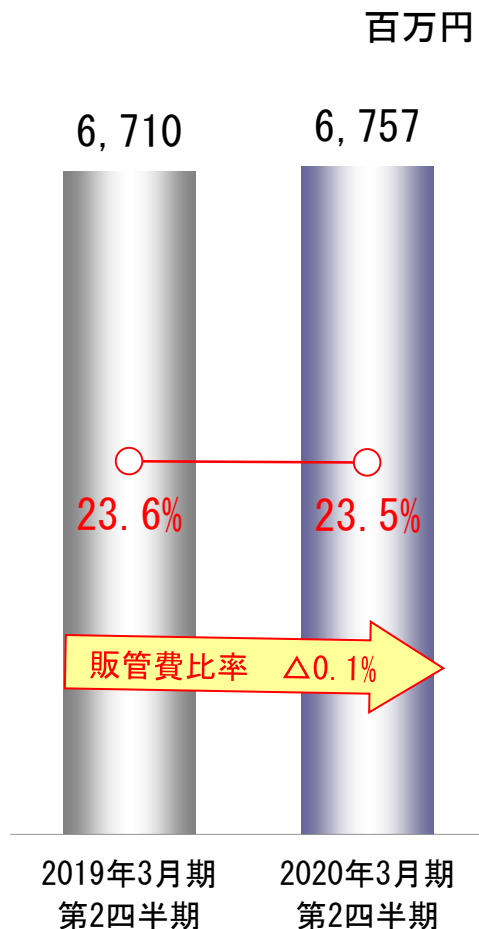


売上高増減分析 (顧客所在地別)



販売費及び一般管理費

百万円



百万円

	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	増 減	対前期 増減率
人 件 費	2,928	2,953	25	0.9%
運 送 費	807	842	34	4.3%
研究開発費	785	742	$\Delta 42$	$\Delta 5.4\%$
減価償却費	162	178	15	9.4%
そ の 他	2,025	2,040	15	0.7%
計	6,710	6,757	47	0.7%

[運送費] 運賃の値上げ及び増収により出荷量が増加

[その他] コミッション取引の増加により支払手数料が増加

経常利益：前期実績との比較

百万円

2019年3月期
第2四半期

593

マイナス要因

プラス要因

(353)

売上総利益の増加

($\Delta 103$)

販管費の増加

($\Delta 22$)

営業外収支の減少

135

為替影響額

362百万円増加

2020年3月期
第2四半期

956

()内は為替影響を除く

2020年3月期 通期連結業績予想

百万円

	2019年3月期 実績	2020年3月期 予想	対前期 増減率
売上高	58,059	60,000	3.3%
営業利益	1,462	1,800	23.1%
経常利益	1,520	2,000	31.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,160	1,400	20.7%
1株当たり 当期純利益	47円59銭	57円43銭	---

為替レート（期中平均）

米ドル	110.91円	110円
ユーロ	130.42円	125円
シンガポールドル	81.69円	82.5円

-出雲工場に太陽光発電システムを導入
2019年10月



-お父さん・お母さんの働く会社を見学する「キッズ参観」を開催
2019年8月



-譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分を実施
2019年8月



人と医療のあいだに…

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。